キャラクター名
宵崎奏

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	通信制の高校生
オプショナル	ハヌマーン	年齢	15歳	性別	女性
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	34 %
出自	待ち望まれた子	経験	心の壁	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	4	0	0			4
社会	3	0	0			3

HP	26
行動値	18
(非装備時)	18
戦闘移動	23
全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	1r+2				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：手配師	
コネ：要人への貸し	
インクリボン	
華美なる華	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
起源種	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
先手必勝	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 行動値+Lv*3、初期侵蝕値+4。								
導きの華	4	4	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	交渉	-	
効果： 対象が次に行うメジャーアクションの達成値に+「Lv*2」する。								
光り射す場所	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	交渉	-	
効果： 導きの華と同時に使用。対象が次に行うメジャーアクションの達成値に+5する。								
アドヴァイス	4	4	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	交渉	-	
効果： 次に対象が行うメジャーアクションのC値を-1（下限値6）し、その判定のダイスを+Lv個。								
戦場の魔術師	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	3体	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果： アドヴァイスと同時に使用。組み合わせた判定の対象を3体に変更する。1シナリオLv+1回まで。								
妖精の手	1	4	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	-	
効果 :対象が判定のダイスを振った直後に使用する。対象のダイス目をひとつ10に変更する。このエフェクトは対象が判定を行っている最中にも使用できる。このエフェクトは1回の判定につき1回まで使用でき、1シナリオLv回。								
タイムリーオペレーション	1	6	ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ	至近	単体	自動	120%/自傷	
効果 :対象の戦闘不能を回復し、HPを1まで回復する。ただし、あなたはBS暴走を受ける。他エフェクトと組み合わせ不可。1シナリオLv回。								
空の楽器	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	視界	効果	自動	-	
効果 :周囲の大気そのものを無数の楽器やスピーカーに変え、任意の音声や音楽を発生させるエフェクト。しっかりと記憶しているのなら、楽曲を演奏することも聞き取った他者の会話の内容を再生することもできる。								
真偽感知	★	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	自動	-	
効果 :対象の声色から、発言の内容に嘘がないかを見抜くエフェクト。このエフェクトによって分かるのは嘘をついているかであり、相手がどういう内容の嘘をついているかまではわからない。GMは嘘を見抜くためにRCによる判定を必要としてもよい。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

過去の出来事から「どんな人でも救える曲」を作曲しようとしている少女。
自分のことよりも他人のことを優先、助けるような言動や行動が目立ち。
その様子は文字通り身を削っているように見える。

少女の過去

母は幼い頃に他界。
作曲家の父親と二人で暮らしてきていた。
幼い頃から歌とともに育った少女は、その影響から趣味の範囲で作曲を始めるが。
当時楽曲制作に行き詰まり、担当から迫られてしまっている父の作りかけの曲を一部アレンジし一つの曲を作り上げる。
父親はその曲を大きく賞賛し、奏の合意の元、担当にその曲を提出する。
しかし、提出した楽曲を聞いた担当は制作された楽曲で使用したのは、父親の制作した部分ではなく、奏の制作した部分のみだった。
その後、父親は部屋に籠もって楽曲制作に打ち込むがうまく行かず。
やつれていく父親を見た奏は、父親のためだけに、父親を励ますために新たな曲を作り、父親に送る。
その曲を聴いた父から最大限の賛辞を贈られた。

「奏はすごい才能を持っているよ。きっと、音楽に愛されているんだ
奏はこれからも、奏の音楽を作り続けるんだよ
きっと奏の音楽は、たくさんの人達に受け入れられて、喜ばれて……必要とされるはずだから」

翌日、父親は脳に強いストレスがかかってしまい自室で倒れてしまう。
それを見た奏は、すぐに救急車を呼び病院へ向かう。